

抜けにくいハンマーの試作品

かつて高校の地学実習用に、市販の安いハンマー“おおトン”を揃えたが、クサビが抜けやすいのが欠点であった。そこで、クサビや目釘の代わりに図のように2枚の帯金を挟んで頭部を固定したものを試作し、9年前から使ってもらい、好評をえている。

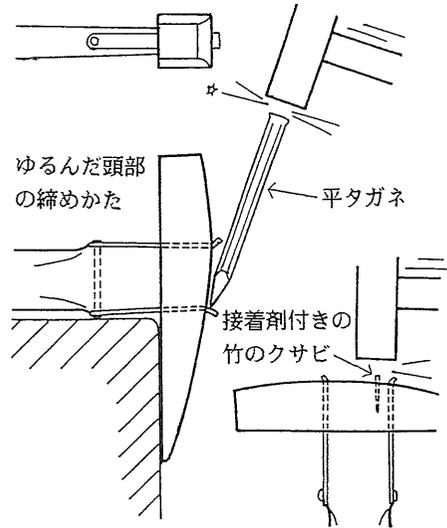
このハンマーは全長35 cmで重量約1 kg、櫛の柄付きの普通のピック型だが、図のように頭から出た帯金が約45°に曲げてあり、もし頭部がゆるんだら、強く打ち込んでから抜け出した部分をハンマーや平タガネで折り曲げて締めて行く点に特徴がある。

木部がさらに著しく収縮したら、帯金から約1/4の所をノミで割り、木か竹のクサビに接着剤を薄く塗って打ち込むのである。

希望者にはつぎの価格で、送料着払いでお分けするので、下記まで申し込またい。

学校・会社関係 @5,320円

個人 @4,420円



申込先 〒980 仙台市宮城野区名掛丁125-1-901
宇留野勝敏 TEL=FAX.022-293-3086
振替口座 02290-8-17505

(東北学院榴ヶ岡高校)

宇留野勝敏)

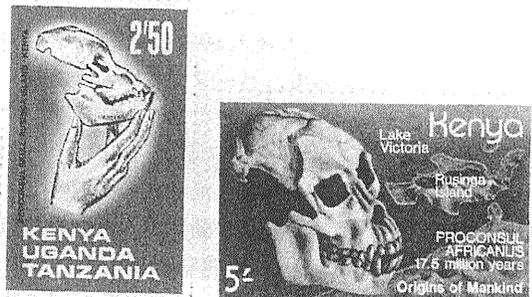
//////////////////// 地学と切手 //////////////////////

プロコンスルの切手

P. Q.

東アフリカ・ケニアにあるビクトリア湖のラシガ島の中新統から1951年にクラークとリーキーによって発見された類人猿の一属。コンスルはロンドン動物園にいたチンパンジーの一群の名で、その祖先と言う意味である。

人類の祖とする人もいたが、一方下等猿類に近い点もあり、類人猿と人の中間の性質と言うより、もっと広い基礎的性質で、ゴリラ的進化と人的進化の分岐的なものともみなせる。2種が知られており、プロコンスル・アフリカヌスからチンパンジーが、プロコンスル・メイジャーからゴリラが生じたと言われるがはっきりしない。どの種も種内変異が大きく、ある化石が変異内の極端なメンバーなのか、別



の新種であるかをはっきりさせることはむずかしい。頭高は約10 cmである。

2'50切手はケニア・ウガンダ・タンザニアが郵便連合を結んでいた時代のもので1957年発行された。この連合は1968年1月に解消された。5'はケニアが1982年に発行した化石霊長類4種のうちの1種。17.5 million years, 人類の起源と記されている。